# 寫眞週報

内閣情報部編輯

昭和十三年八月十二日　第三種郵便物認可　昭和十三年八月廿一日發行（毎週一回水曜日發行）　第廿九號

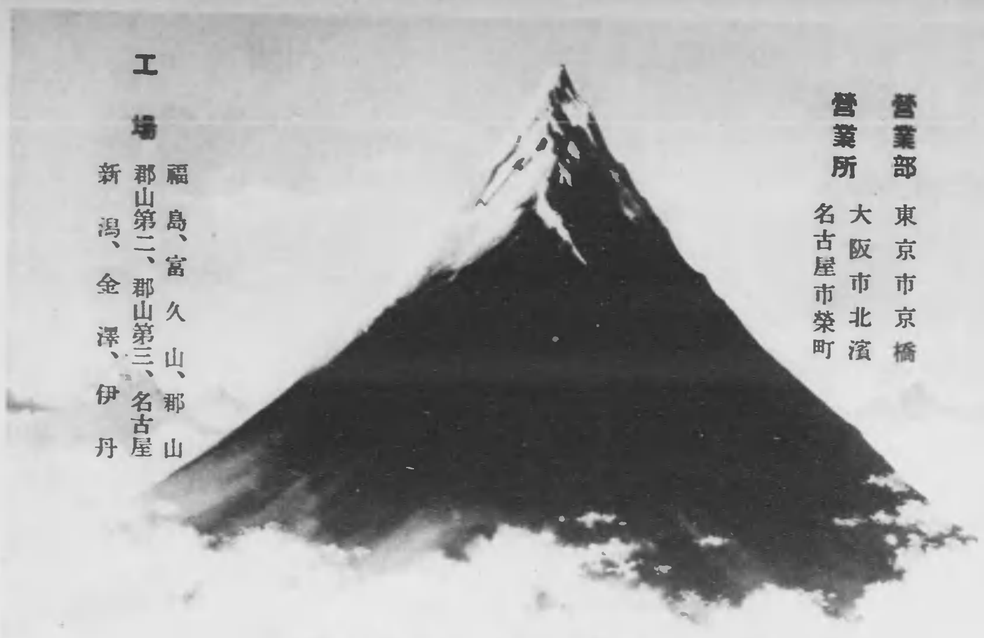
八月廿一日・第廿九號・十セン

防空おぼえ帖

内務大臣　末次信正

# 正意精神

撮影　木村伊兵衛

営業部　東京市京橋
営業所　大阪市北濱
名古屋市榮町

工場　福島、富久山、郡山
郡山第二、郡山第三、名古屋
新潟、金澤、伊丹

社會式株績紡東日

ス・フのお洗濯に是非!!

東洋一産額

ニッサン石鹸

洗濯

東京・芝・日産館
日本油脂株式會社

# 燈火管制の種類

撮影　内閣情報部

**警戒管制**――敵機が何時襲つてくるかも知れぬ。愈々警戒管制に入つた。屋内の燈も減光し、直射光が外に漏れぬやう、電燈には規則通りの遮光用具をかけ、又いつでも空襲管制に入れるやうに、萬全の用意をして置かう。

**空襲管制**――空襲警報が告げられた。針程の光も外にもらしてはならぬ。開口部は厚い黒布で隙間なく蔽ひ、直ちに仕事をやめ、わが身を、家を、町を守るべく部署につかう。

**準備管制**――然し憎むべき敵機は、この平和な床屋さんの住む町の空をも狙ふ。準備管制と同時に、理髪屋さんは、逸早く飴ん棒の燈を消した。町中のネオン廣告燈、門燈等屋外の燈は消して、空襲に備へやう。

**平時**――外には、赤白の飴ん棒がくるくると勢よく廻り店内には明るい燈が輝いて、平和に營業を續けてゐる理髪屋さん。

# 防空ぼお粘え

これが上海國際管理局北側本邦家屋爆破跡の慘狀です。我々は、かくある日を期して、十分、防空施設を整へ、規律ある訓練をしませう。

撮影　東部防衛司令部

## 空襲の味覺

ぐつすり眠りこけてゐた。

めづらしく砲聲のない夜だつた。

曇つて月もない。全く戰場と化してゐた上海の虹口も、その夜だけは靜かに眠つてゐた。まだ〳〵大場鎭も陷ちない昨年十月十八日の夜のこと。

午前一時頃誰か窗の外から叫つて來て窗の床へもぐり込む氣配に、一寸眼を覺ました。今夜は靜かだ。一向に撃つて來ない。來襲さへ無さそうだ。寢返りを打ちながら寢ぼけた頭にも「やれ〳〵今夜は眠れるぞ」と考へた。そしてすぐ眠の谷に落ちていつた。

突然、寢てゐる顏に血よりも赤い閃光を見た。閃光を入れず、のしかゝつて來た重力と耳を突き破る大爆音と地震と、悲鳴とガラスの破片を、全身に浴びて飛び起きた。

『爆彈だ！』

味方の猛烈な對空射撃の音、敵機の爆音、夜空に炸裂する高射砲彈。轟雷してゐたゞけに自分でどうにもならない混迷と混亂のまゝに、掛け布團を引かぶつて闇の階段をすべり落ちていつた。『者生！　馬鹿しやがる』

『今のは近かつたぞ床がはずんで、俺はゴム毬のやうに飛上つた』

『まだ居るな』

『撃つてるね』

宿舍の食堂の暗闇の中で、壁中電燈のほのかな灯に描き出された顏が口々にのゝしつた。その時。『火事だ』

『火事だ、火事だ。日本人は營外へ出てくれ。早く消さないと目標になる！』

『陸戰隊へ早く、電話をかけてくれ前の電氣事務所が燒夷彈にやられた。屋根が燒けてゐる』

皆そのまゝ戸外へ飛び出した。いまだ窗を遮蔽してあつたゝめ、僅かに四間道路を距てたお向ひが黄色い燈をあけて炎上らうとしてゐるのがわからなかつた。

『バケツを持つて來い』

兎も角、やれるだけやらう。延燒を食ひ止めやう。防空演習の意氣でゆけ。これ位のことで參つてたまるものか。皆バケツに水を引つさらつては走つた。まだ對空射撃はやまない。まだ空襲の眞最中だ。高射砲の破片が、機銃彈が降つて來る。あたれば無論命はない。しかしあの火は一刻も早く消されにならない。次の爆撃の目標になるばかりでなく、恐らくもう半時間と經たないうちに寄から絶えてなかつた砲撃も始まるだらう。

消せ！

幸ひ建物は煉瓦造だ。陸戰隊の兵隊さんも、在鄰軍人も居留民も、男も女も一丸となつて揃つぶての中で炎上らうとする事務所の窗からバケツの水をたゝきこみ、隣の塀にかけた。百に餘る人手が蟻がたかるやうにして半時、燒夷彈がプチ抜いた事務所の一角、一階と二階を半燒に止めて鎭圧をあげた。目標になり！この一發が見事燒夷彈に勝つた。

宿舍から百メートル程裏の民家には破壞彈が落下して二名の犧牲者を出してゐた。卅キロ内外の爆彈燒夷彈をとりまぜて九發宿舍を中心として二百メートル内外の範圍の中に落されてゐた。

この時の姉妹彈の一個が命中してゐた工部局の傳染病院はあまりに猛烈な火勢のため無惨全燒の悲運に遭つた。明かるい窗に傳染病院の鐘樓が、茶褐色にくすぶつてゐるのが疲れ切つた眼にぼおつとみえた。

内閣情報部

林　謙一

# 時たつ遭に襲空で路街

## 守れ大空

支那事變勃發以來わが忠勇なる陸海軍航空部隊は、朝に大陸の奥深く夕に圓南の翔翼をつらねて、猛烈なる支那軍を擊破し、到る處赫々たる武勳を輝かせてゐる。しかし、一朝變をかへて、わが國がもし空襲をうける立場になつたならばどうであらうか。有事の際、海を越えて敵の航空機が本土に來襲することは、今次支那事變の經驗によつても十分察知し得る。わが陸海軍の精鋭なる航空機、高射砲が國土防衛の任にあたつてくれることは勿論であるが、國民また軍防空に呼應して、國民防空の實を擧げることが必要である。空襲の被害を防止し、また被害を輕減するために、國民は協力一致、平常より必要な施設をととのへると共に、組織ある訓練をなし準備おさおさ怠りないやうにしなければならぬ。

ここに空襲をうけた際の處置に就いて、個人、家庭を中心に種々の場合を想定し、その防護方法を寫眞に依つて明かにした。非常時の國民常識として熟讀されんことを望む。

尚、今回の撮影に際し消防勤勞奉仕をもつて協力した、東寶劇團坂東簑助氏一座諸君の勞に感謝の意を表したい。

⇨ 通行中、空襲警報を受けた時、何處だ、何處だと、こんな樣子で見廻です。然し、この瞬間の狼狽、冷靜を失つた態度は空襲の恐怖に好んで飛込やうなものです。

⇨ 空襲警報を聞いたら、直ぐ附近の堅牢な建物に避難し、奥まつた處で、硝子戸類から遠ざかり、姿勢を低くして居りませう。

⇨ 附近に地下室のある時は建物に沿つて、警報と、地下室に入りませう。然し、十分防備を施してゐない地下は、安心が出來ませんから、指導者の注意を十分聞いて行動し、又常時から避難の智識を得て置きませう。

⇨ 電車、自動車等に乘つてゐる場合は、警官係員の指揮に從つて、停止と同時に、附近の建物に避難するか、避難所の無い時は、窓かけの下等へ身體をかくしませう。決して、窓から顏を出したり、運行中の車から飛び降りてはいけません。

撮影 內閣情報部

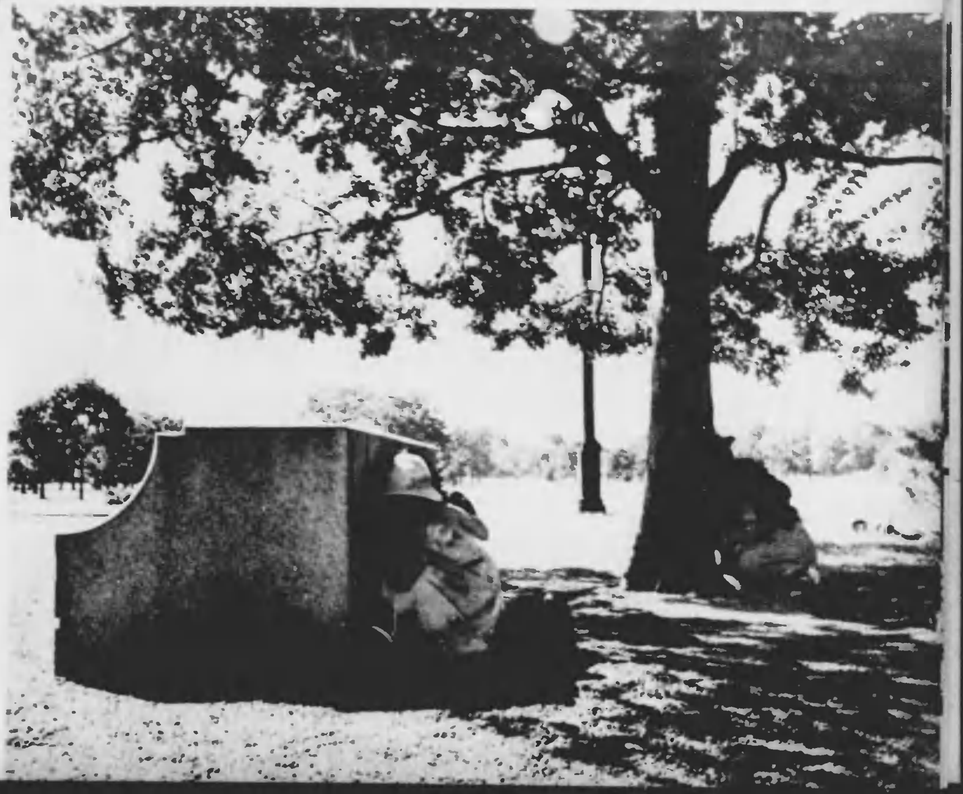
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

# 公園や野原

どんなものでも利用して、被害を避けませう。ベンチ、立木も、この場合、大切な掩護物です。出來るだけ、身體を低くしてゐませう。

⇧

野原や、公園を通行中、空襲をうけた場合、附近に大した掩護物もない處から、徒らにあわてて、走り廻つてゐると、却つて、爆撃の目標になります。



⇧

目標になる白い帽子などは身體の下にかくし、凹地の最も低い場所に、ぴつたりと伏しませう。線路等で仕事中、又は歩いてゐる時は、急いで低い處に降りて、矢張、伏しませう。

⇦

落下と同時に爆弾は、じようご型に炸裂しますから、その線外に身體がある場合、被害は免がれる譯です。從つて、出來るだけ、地面より低い處を選ばねばなりません。

# はで

⇧

遮蔽物も何もない野原の場合は、凹地、溝渠を利用しませう。然し、あわてて"頭隠して尻かくさず"の、こんな恰好では、何にもなりません。

撮影　内閣情報部

# 家庭では

空襲警報と同時に、近所に防護室、防空壕のない場合は瓦斯弾に備へて、老人、子供は、戸で十分目張りをした隣ねて用意の避難室に避難させ健康者は、防毒衣、マスクに身を固め、家庭を護りませう。寫眞のやうな、セロハンの防毒カヤも一時の間に合はせになりますが、徹底的な防毒や破壊大災にそなへて、防毒マスクは、是非用意しなければなりません。

硝子戸には手早く紙を張り、疊をたてかけて、四散する爆彈、硝子の破片を防きませう。同時に、ふすま等とり外しの出來る建具は一處にまとめて、火災の擴がるのを防がねばなりません。尚消防用水風呂桶、砂等は、平常から用意して置きませう。（下右）

時間に餘裕のある場合は、老人、子供を避難所、防空壕等に避難させ健康者は、近所の防火群と協力、家を町を、しつかりと護りませう。何よりも、落着き、そして日頃からの用意、訓練が大切です。（下左）

（上）「そら、空襲警報だ！」と、こわいもの見たさに主人が先に立つて飛び出せば、それについて怖々ながら家族も外に出て、不安と好奇心交々、胸をはずませながら空を仰ぐ。——何の用意もしない家庭、若し此の附近に爆彈が落ちたら、この一家は全滅を免かれないでせう。

（下）又、恐怖からすつかり落着きを失ひ、とかく、こんな風になり易い。平素から、きちんと家の中は片づけて、燃え易いもの大切な品は一定の場所に蒐め、火災の被害を最小限度に止めるやう心がけませう。

撮影　内閣情報部

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

# 瓦斯彈が炸裂した！

瓦斯彈が附近に炸裂した時このやうにあわてふためいて逃げやうとしても、かへつて、澤山の犧牲者を出すばかりです。

**一般に知られてゐる毒瓦斯の種類**

△**窒息性**（ホスゲン）氣體で無色乃至白色。**特異・腐敗堆肥臭**。**持久性一時・作用**・生理作用・呼吸器系統に作用して窒息死せしむ

△**糜爛性**（イペリツト・マイイサイト）氣體及び液體で、無色乃至黒褐色。**特異**・前者は芥子の臭、後者は大蒜臭。**持久性**・永續的。**生理作用**・呼吸器系統に作用し、肺臟に傷害を與へて窒息死せしむ

△**催涙性**（クロルピクリン。クロルアセトフエノン）前者は氣體無色、後者は氣體又は微粒子、無色乃至白色。**特異**・前者は刺戟性胡椒臭、後者は芳香性。**刺戟**・前者は一時的。**持久性**・前者は半永續的。**生理作用**・眼の結膜を刺戟して催涙し一時著しく視力を害す。

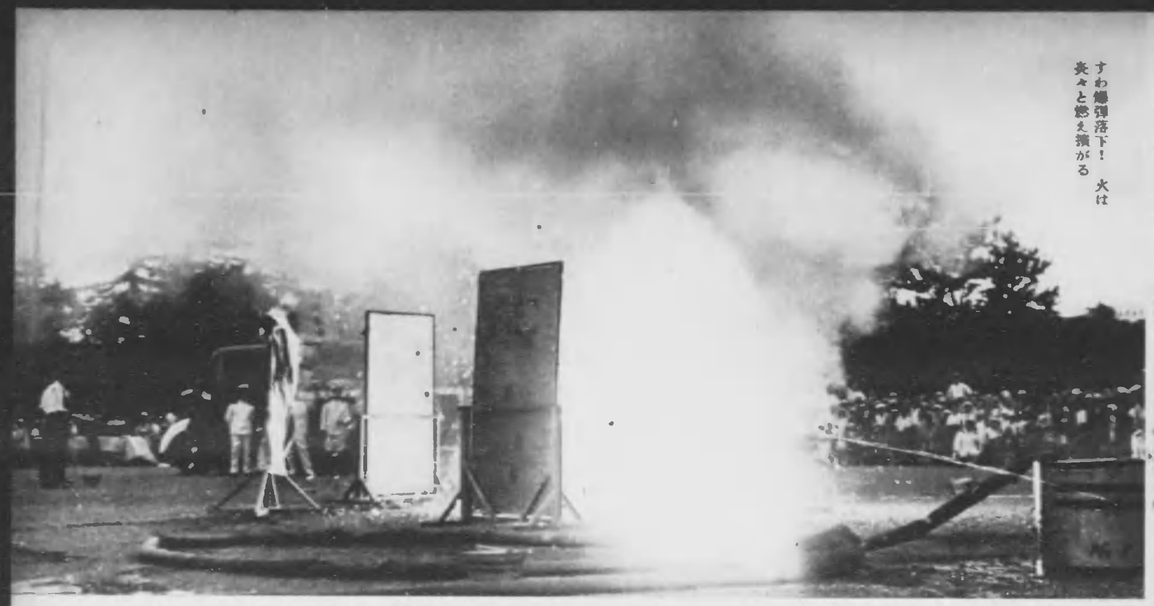
△**クシヤミ性**（チフエニールシアンアルシン）微粒子で白色。**特異**・苦扁桃油臭。**持久性**・一時的。**生理作用**・鼻及咽喉の粘膜を刺戟し、クシヤミ及嘔吐を發せしむ

これら瓦斯に對する救急法、消毒法等は是非最寄の防護團其他で各に研究して置きませう。

直ぐ濡れ手拭、ハンカチ又は上着などでしつかりと鼻と口を蔽ひ、風上に向つて逃げませう。群衆が右往左往してゐる場合は、大聲で風上を指示し、警官係員の指導にしたがつて避難をしませう。

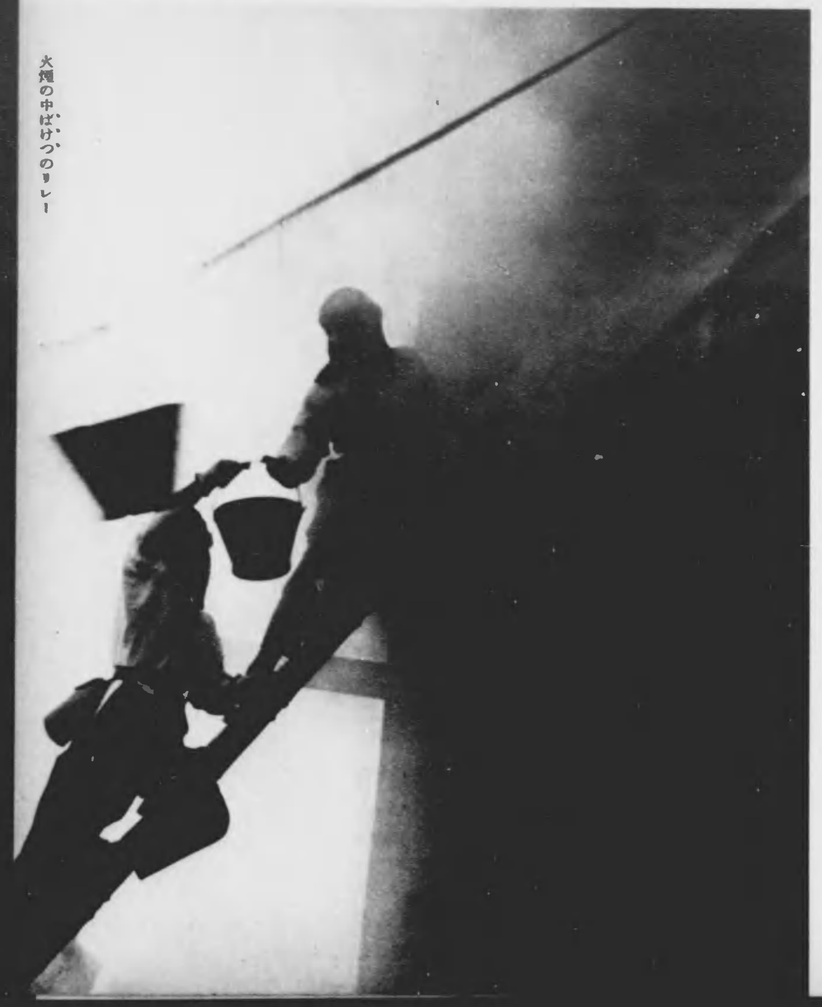
撮影　内閣情報部

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/



すわ爆弾落下！　火は炎々と燃え擡がる

延焼を防ぐため焼夷弾を水攻めにする



火煙の中をばけつのリレー

# 警視廳東京市主催
# 内務省後援
# 焼夷弾火災防火實演

八月廿一日
於日比谷公園運動場

## 焼夷弾から我が家を護れ

木造家屋の多い日本の町にとつて、焼夷弾に對する理解と防火作業の訓練は、防空業務中の緊急事であるといふので、八月二十一日から四日間日比谷公園グランドに於いて警視廳、東京市主催、内務省後援で、焼夷弾火災防火實演が行はれた。戰時下帝都の空と我が家を空襲から護らうと第一日目の廿一日出動した防火群は、日本橋區家庭防火群の婦人部隊二十五名外部下各家庭防火群見學者數一千余名で、消防頭巾もんぺに凛々しく身を固めわが國最初の十キロ焼夷彈落下實驗を一キロ、二キロ、五キロ、の焼夷彈に點火、次々とその防火方法を實演したが、家庭に準備出來る水、砂、座蒲團、むしろ、濡れかます等で延焼をふせぎ、用意さへよければ女手で十分焼夷彈の災厄を免れ得ることを思はしめた。續いて木造二階建の模擬家屋で、立體的防火訓練を公開、防毒面の裝着法や、消火法を指導、婦人防火團の力強い活動ぶりを示した。

撮影　内閣情報部

センスある凛々しい婦人防火群の活動

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

# 防空用具一覧

近代戦には無告がない。空襲の凄劇な怖ろしさは想像だけで戦慄してゐるわけにはゆかない。平時の訓練と防護の整備がないとすれば、いざ空襲のあらゆる事態に處するには、何をおいてもまづ防毒面が必要であり、防毒面使用に對する周到な知識を必要とする。

防毒面は、空襲の際防護作業に従事する人々のためのものとその他一般家庭婦女子用のものと二つに分けられる。家庭用は二圓五十錢位から市場に出てゐる。防護作業用は十一、二圓前後で吸收罐直結式と隔離式とある。右寫眞の、上は家庭用、中は防護作業、下は一般幼少年用。

毒ガス試吸器のセット。平時からこの各種毒ガスの特臭、色彩を防護團員などは殊によく覺えておく必要がある。





家庭にはバケツその他防火用具が必要だが消火器もいつでもすぐ使へるやうに整備されなければならない。



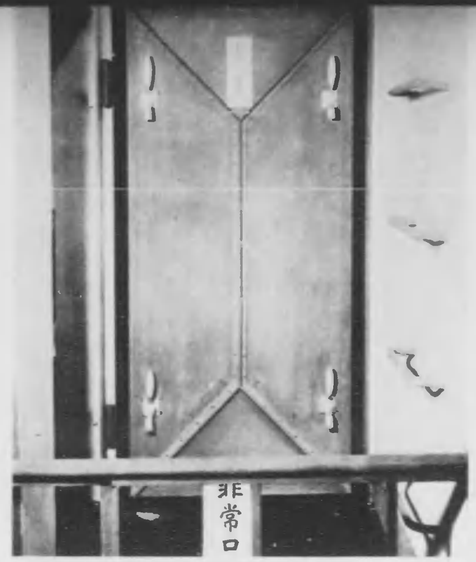


地下防護室の破壊用具と毒ガス濾罐。濾罐は含毒外氣を清淨に濾過し常閉された防護室の換氣をする。換氣通風用の電氣モーターは停電の場合は手でハンドルをまはす仕組である。十人用から二百人收容可能のものまである。

不幸にして毒ガスの被害にあつた場合は出來るだけ早く救急の處置をとらなければならない。生命を護る色々な藥品を入れた救急箱は手近なところに備へよう。



セロファンの防毒カヤ、四疊半用から十疊用まであり、値段は五圓位から十二三圓前後で吸收罐から通風出來る。長時間の使用にはたえないが、應急品として發賣されてゐる。



防彈防毒扉――ふちはフエルトやゴムで包まれてゐる。一般ビルデイング等の防護室の入口はこれで固めねばならぬ。

部屋の隙間をふさぐ目張り用テープ。

防毒面の吸收罐は大きさによつて値段は異なるが、毒ガス中で百五十時間くらゐ吸收能力のあるものもある。

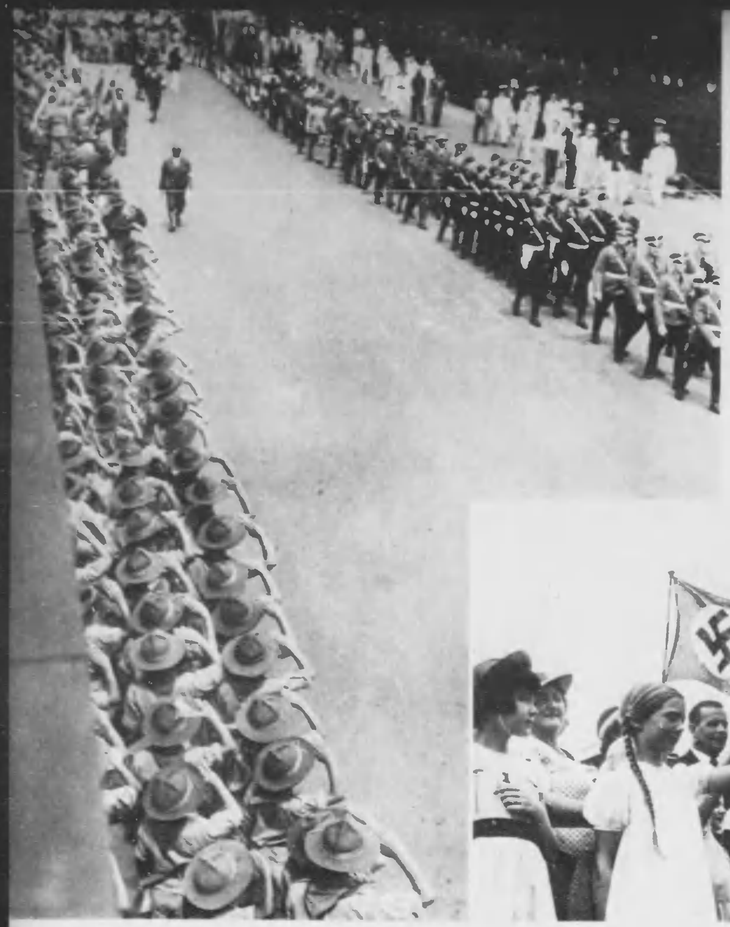
撮影　内閣情報部





アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

# トンゲーユ・ーラトッヒ
# る來團遣派

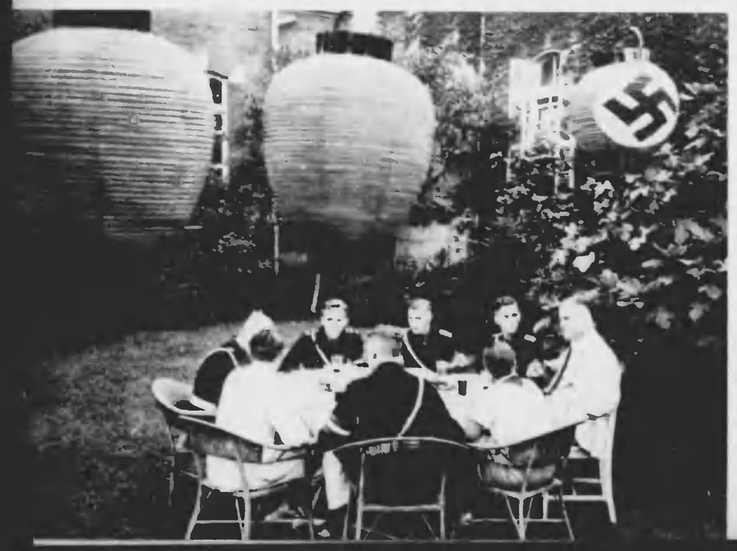


⇦ 檢疫のため横濱港内に訪日第一夜の夢を結んだヒットラー・ユーゲントの一行は十七日午後零時半、横濱市民の「ハイル・ヒットラー」を浴びつゝ靈長シュルツェ氏を先頭に颯爽とあこがれの上陸第一歩を印した。

⇦ 懐かしい故國の青少年を迎へて大喜びの在京ドイツ人。

⇦ 横濱埠頭に日本健兒を代表して、盟邦の友を迎へるわが少年團。

⇦ 官民數萬の歡呼の嵐に迎へられて東京驛に降り立つたヒットラー・ユーゲント一行は、降車口から音樂隊の愛國行進曲に導かれて驛前廣場の歡迎式場に向ひ、わが男女青少年團員と入京最初の歴史的交驩をとげた。



⇩ この日夕刻、一同打揃つてドイツ大使館を訪れゝば待ち佗びてゐたオットー大使はヒットラー總統の胸像の前で歡迎と激勵の言葉を述べたのち、館内庭園で打ちくつろいだお茶の會を催した。

憧れの日出づる國に防共の若き盟友と固い心の握手を交さうと七月十二日故國ドイツのブレーメンを出發したヒットラーユーゲント一行三十名は八月十六日横濱入港、十七日官民數萬の歡呼の嵐に迎へられて晴れの帝都に入つた。

レデッカー副團長以下の一行はさきに五月二十五日東京を出發した逸翔擴充のわが青少年團を迎へて交驩の數日を過つた後、入れ違ひに日本に向つたもので、獨逸巡廻中のわが青少年團とともに日獨の全青年が兩國の明日の發展のために、眞摯相驩れ、相知つて、理解の上に立つ協力を誓はうと來朝したのである。

現在ヒットラー・ユーゲントの總數は約八百萬、國家發展の聲は青少年の手に在り一といふヒットラー總統の信條に從つて智育に、體育に、團體訓練に、勞働奉仕に、新興獨逸の未來を双肩に擔つて發剌と活驩をつゞけてゐるが、こんど來朝した一行はこの八百萬のヒットラー・ユーゲントから選りすぐられた最も優秀な青少年で、幹部八名、その他二十二名、何れも二十歳前後の若年ながら、故國にあつては、幹部はよく一萬人の指導者であり他も二百名から六百名の指導者である。

一行は十九日一日靜京富士山麓山中湖畔でわが青少年團員五百名と盛大な日獨交驩大野營を行つたが、二十日には富士登山を決行、以後約三ケ月間、東京下の眞の日本を識り、愛國心に燃える日本の全青少年と心からの交驩を續けるため、北海道から九州まで全國にわたつて遊歴するはずである。

世界の西と東に防共の共同戰線を張り互ひに相携へて明日の建設のために奮闘しつゝある日獨の青少年が、この絶好の好機會を得たことは單に兩國數千萬の若人にとつて喜ぶべきことであるばかりでない。世界の平和を希ふ兩國にとつて眞に意義が深い。われ〳〵はこの機會に發剌たるヒットラー・ユーゲントから新興ドイツの意氣と力を汲みとり、そして今未曾有の國ひを馳ひつゝある日本の眞の强さをはつきりと示さうではないか。

撮影　内閣情報部

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

二十日、いよ〳〵待望の富士登山決行の日が來た。

出發を前に前列左からレデッカー副團長、少年團聯盟理事長鈴木孝雄大將、松井大將、荒木文相、シュルツエ團長、傷兵保護院總裁本庄大將。

⇩

馬返しでバスをすてると、わが少年團代表六名が先頭をきり、ヒアトラー・ユーゲントがこれにつづき、最後が青年團代表二百名。シュルツエ團長以下資笠に簑ゴザ、金剛杖の純日本式いでたち。日本人の二倍もあらう大コンパスで「ハイル・ハイル」とどなへながら登つて行く。

⇩

東京驛前廣場に日獨青少年團の初の交驩を行つた一行は、宮城を遥拜、明治神宮に參拜後、九段靖國神社に詣で、神前に一日本民族の戰歿勇士に捧ぐ、ヒットラー・ユーゲント派遣團一と誌した觀の大花環を献し、世界平和の尊い人柱となつたわが勇士の英靈に心からの默禱を捧げた。

⇩

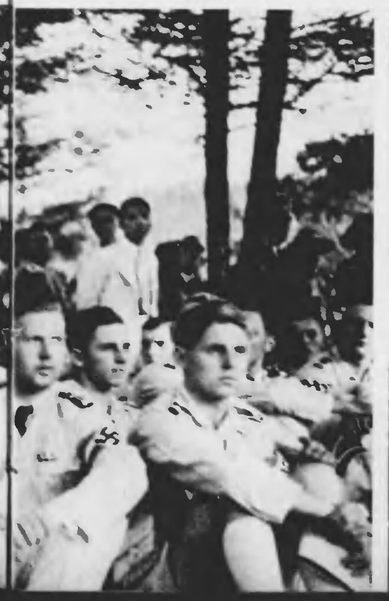
素晴しかつたキャンプの夜は明けた。あたりには名も知らぬ千々の小鳥が爽やかな晩夏の朝を囀り野菊、女郎花など初秋の千草が咲き亂れてゐる。

「おゝ素晴しい！」ととび起きたヒットラー・青年が胸一杯に日本の朝の空氣をすひこめば、富士の高嶺がくつきりと紺碧の空にそびえ立つ。

宿舍に歸つて日本のユカタにくつろいだヒットラー青年がまづ心に浮ぶは故國ドイツに彼の健在を祈る父母だ。

橫濱上陸以來の感激を纏り行く青年の足もとには、十二文の日本製ゴム底登山靴が明日の山中湖畔キャンプ行を待つてゐる。

日獨青少年交驩野營の日――わが可憐の少年團員が心づくしの野外劇「桃太郎」「長短試合」などに、ヒットラー・ユーゲントたちが腹を抱えて笑ひこけてゐるとき、中支に赫々たる武勳を燦かせて先頃歸還された松井石根大將がひよつこりモンペに竹皮笠といふ姿で現はれ盟邦の若人とあたたかい握手を交した。



アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

陸軍科學研究所
御指導
型式御認可品

東京

# 藤倉工業株式會社

營業種目

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 防空用防毒面 | 一號甲型 | 一號乙型 | 二號甲型 | 二號乙型 | 家庭用 | 小人用 | 防空用防毒服 |

總販賣店

株式會社 **藤商會**

東京市京橋區銀座西五丁目五番地

電話(57)銀座六八一四番

型錄進呈


## 讀者のカメラ

投書數十件

### 遠征軍仕

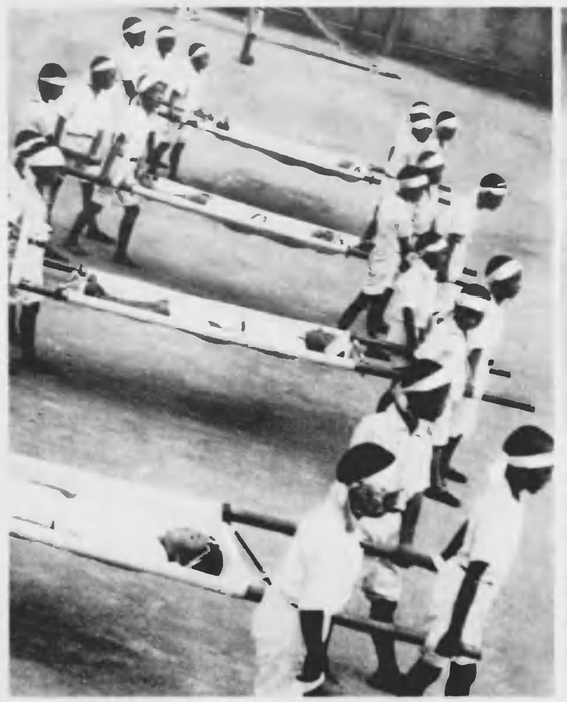
山梨高等工業學校 毛利虜賢

炎々たる夏空の雲を背景に、こゝ甲府市郊外荒川河原にくりひろげられた山梨高等工業學校生徒による砂利採取作業。河原の砂礫に照りかへす烈日に、はよりも青つる汗ものかは、若人の意氣は虹と燃え、軍線將兵の勞苦もかくやとはるかに大陸の夏をしのんだのであつた。

### 街の緑化

東京市小石川區 小竹映堅

私等の手で美しい緑の葉蔭を拵へようと都下中等學校生徒による街路樹の手入作業。長い竹竿の先につけた鋏でチョキ〳〵小枝を落す者と熊手で掻き集める者との名コンビが街一ぱいにひろがつた。かうして烈日下一日の作業は汗の身さと勞働の神聖を體得せしめるに十分であつた。



### 少年擔架隊

北陸毎日新聞社

金澤市芳斎町小學校生徒によつて組織された擔架隊。白布の縁に二本の竹を通した素朴な擔架は一組六人の少年によつてになはれる。一明三人宛前後にわかれ一人は肩から帶紐をかけて中央に、左右の二人はしつかりと棒を握る。守れ大空我等の責務、少年たちのこの肩に、その腕に國民防空の重い責務は託される。

### 寫眞募集規定

本誌は「寫眞報國」の一助にもと考へ、出來る限り紙面を開放し讀者のカメラを動員、優秀な技術を持つてゐる。題材は内外併設、職業の區別は問はない。例へば物にも田園にも、或は工場、家庭、學校など到る所に溢る鐵後の警ひ、國民精神總動員風景、或は季節と俱利の面白い組合せなどはどうでせう。一枚の寫眞でも數枚ひと續の組寫眞でもよく締切期日は決定せず、サイズはキヤビネ判以上、裏面の分には簡潔又は記念品を贈呈し版權は當部に歸するものとす。

應募作品は一切返却せず。

內閣情報部

すは、空襲！鳴り響くサイレンの中、毅然と立つた婦人防火担任者。われらこそ、國土の護りと、ぐつとかぶつた防毒マスクも頼母しく、渦まく火焰、毒ガスのまつたゞ中へ突進してゆく。

——モデルは東寶劇團橋本枝子さん——

撮影 內閣情報部


寫眞週報（禁轉載）

昭和十三年八月卅一日印刷發行

發行者 內閣情報部
東京市麹町區永田町
內閣官房大臣官舍內
電話 大臣官房 (59) 三〇〇一番

印刷所 大日本印刷株式會社
東京市牛込區市谷加賀町一ノ一二番地

| 定價 | 申込所 |
|---|---|
| 一部 十錢<br>一ケ年（前金）四圓八十錢<br>（外國郵便に依る場合は八圓九十錢） | 寫眞週報配送部<br>東京市麹町區内幸町一ノ二ノ一〇<br>振替口座東京三五八〇〇番<br>全國各地官報販賣所<br>東都書籍株式會社<br>最寄書店・驛賣店<br>各地新聞販賣所<br>寫眞材料店 |

一ケ年分未滿配送御希望の方は一部十錢の割合を以て前金を添へ御申込み下さい



アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

寫眞週報
昭和十三年二月十二日　第三種郵便物認可　昭和十三年八月廿一日發行（毎週一回水曜日發行）　第廿九號

# 防空

## 國民防空展覽會 開催地及日割

| 開催地 | 時期 | 會場 |
|---|---|---|
| 東京 | 八月九日―九日 | 三越 |
| 大阪 | 九月三日―十四日 | 大阪三越 |
| 福岡 | 九月廿一日―廿八日 | 岩田屋 |
| 仙臺 | 九月七日―十三日 | 仙臺三越 |
| 新潟 | 九月廿五日―九日 | 萬代 |
| 名古屋 | 十月九日―七日 | 松坂屋 |
| [illegible] | 十月廿五日―卅日 | 輻屋 |

防

内務省

（本書の大さは國定規格A4・『週報』倍判）

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/